

公演詳細は、紅葉坂プロジェクト
特設サイトへ！

[https://www.kanagawa-ongakudo.com/
d/momijizakaproject](https://www.kanagawa-ongakudo.com/d/momijizakaproject)



Ticket 全席自由・税込

一般 2,000円 高校生以下 無料(要事前予約)
シルバー(65歳以上) 1,500円 車椅子席 2,000円(付添席1名無料)
U24(24歳以下) 1,000円

4月23日(日)一般発売

KAme(かながわメンバーズ)会員先行4月22日(土)

*シルバー、U24、高校生以下、車椅子(付添)はチケットかながわのみで取り扱い。要事前予約。引き取り方法により手数料がかかります。
*未就学児の入場はご遠慮ください。[有料託児サービスあり:イベント託児マザーズ 有料・公演1週間前までに要事前予約
TEL 0120-788-222(土日祝日をのぞく10:00~12:00/13:00~17:00)]

チケット購入先

- チケットかながわ 0570-015-415(10:00~18:00)
<https://www.kanagawa-ongakudo.com/>
 - ・神奈川県立音楽堂窓口(13:00~17:00 月曜休)
 - ・神奈川県民ホール窓口/KAAT神奈川芸術劇場窓口(10:00~18:00)
- チケットぴあ <https://t.pia.jp> [Pコード:240-668]
- イープラス <https://eplus.jp>
- ローソンチケット <https://l-tike.com> [Lコード:34325]

シリーズ「新しい視点」 今後の公演予定

シリーズ「新しい視点」

庄司紗矢香 音楽とことば 未来への回帰
モディリアーニ弦楽四重奏団 ピアノ/ベンジャミン・グローヴナー

2023.9.20 wed OPEN 18:15/START 19:00

国際的に活躍するヴァイオリニスト、庄司紗矢香と、気鋭の演奏家仲間たちが音楽堂に登場！日本を代表する演出家、平田オリザの書き下ろした台本と演出で、ショーソン「ヴァイオリン、ピアノと弦楽四重奏のための協奏曲」を軸にした「音楽・空白・ことば」の新しい鑑賞体験を創造します。

プログラム 武満徹:妖精の距離
ドビュッシー:ヴァイオリン・ソナタ
ヴェルディ:弦楽四重奏曲 ホ短調
ショーソン:ヴァイオリン、ピアノと弦楽四重奏のための協奏曲 二長調 作品21
(演劇とともに演奏。作・演出:平田オリザ)

Ticket 一般 6,000円 シルバー 5,500円 U24 3,000円 高校生以下 無料

5/6(土) 一般発売予定！ 詳細は音楽堂ホームページをご覧ください。

木のホール

神奈川県立音楽堂

〒220-0044 横浜市区紅葉ヶ丘9-2 TEL 045-263-2567(9:00~17:00、月曜休)
<https://www.kanagawa-ongakudo.com/>

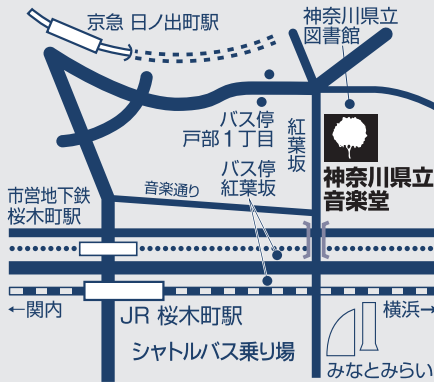
フェイスブック 神奈川県立音楽堂 ツイッター @Kana_Ongakudo

- JR「桜木町」駅(南改札西口、北改札西口)・市営地下鉄「桜木町」駅(南1番出口)から徒歩10分
- 京浜急行「日ノ出町」駅から徒歩13分
- みなとみらい線「みなとみらい」駅から徒歩20分

開場・開演前にJR桜木町駅より無料シャトルバス運行

7/1(土)出発時間	●運賃無料 ●予約不要 ●当日先着順
①14:20	タクシー降車場奥「貸切バスのりば」より発車
②14:45	(「神奈川県立音楽堂」掲示があるバスです)

※神奈川県立音楽堂では、主催公演の実施にあたり新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組みをいたします。また、やむを得ず公演内容に変更が生じる場合があります。
ご来場前に音楽堂ウェブサイトにて「ご来場のお客様へのお願い」および最新情報をご確認ください。



シリーズ
新しい視点
Series
New Perspective

MOMIJ ZAKA
PROJECT

シリーズ「新しい視点」
Series "New Perspective"
Momijizaka Project Vol.2

「独奏」にこだわら抜いて、
ただ一人、コントラバスを弾き、
エレクトロニクスを操る

山本昌史(コントラバス)
錯綜する《独奏》
~Double Triple Solo for
Solo Double Bass~



ここでしか見られない
特別な動画を限定公開中！
こちらよりアクセス！

木のホール

神奈川県立音楽堂

Kanagawa Prefectural Music Hall

2023
7.1st
OPEN / 14:30
START / 15:00

紅葉坂プロジェクト

変幻自在の「流体」と
即興的な音楽が魅せる
不可思議な世界！

Crossings (中村光男、山田サトシ、東俊介、森紀明)
山田岳(ギター)、安藤巴(パーカッション)
Crossings
~acoustic x fluid~

Vol.2

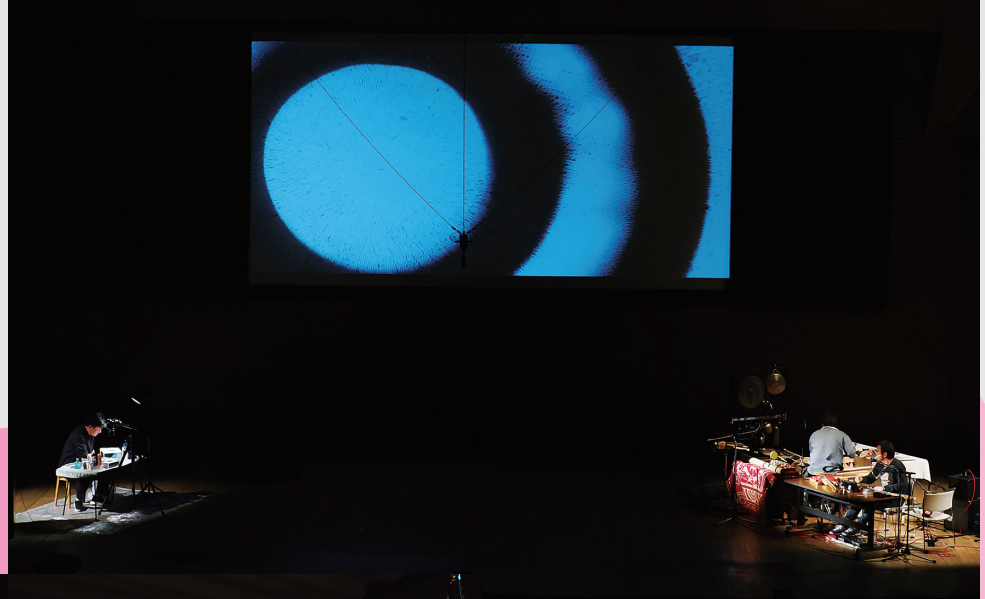
Photo by Tomoko Hidaki

主催：神奈川県立音楽堂(指定管理者:公益財団法人神奈川芸術文化財団)
助成：公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション



神奈川県立音楽堂では、演奏家から聴衆へ発信する音楽表現のあり方、そして歴史ある音楽堂の空間で聴衆がいかに新しい音楽に出会うか、この双方向の可能性を広げるために、2021年より、シリーズ「新しい視点」のひとつとして、企画公募プログラム「紅葉坂プロジェクト」を開始しました。Vol.2に向けては15企画の応募があり、その中から企画委員※によって採択された2つの企画をご紹介します。

〔企画委員〕
委員長代行 沼野雄司
音楽学者、公益財団法人神奈川芸術文化財団芸術参与
委 員 鈴木優人
指揮者・鍵盤楽器奏者・作曲家、パッサ・コレギウム・ジャパン首席指揮者、
読売日本交響楽団指揮者 クリエイティブ・パートナー、
調布国際音楽祭エグゼクティブ・プロデューサー
※本企画は当初、一柳慧(作曲家・ピアニスト／公益財団法人神奈川芸術文化財団芸術総監督)を企画委員長としておりましたが、一柳芸術総監督の逝去に伴い、沼野雄司委員を委員長代行として実施しております。



スクリーンに映し出されるのは山田サトシ(写真左)の「流体」のパフォーマンス。

#1 Crossings (中村光男、山田サトシ、東俊介、森紀明) 山田 岳 (ギター)、安藤 巴 (パーカッション) Crossings ～acoustic x fluid～

『流体』をテーマとし、様々な種類の液体や絵の具などの流体状の素材を使った映像のライブ・パフォーマンスと、ギター、パーカッションや種々の非楽器オブジェクトにより生み出される音響素材とを組み合わせ、音響と映像のコラボレーション。各素材や要素が拮抗、融和、反発などの反応を起こしつつ存在し、音楽と映像の狭間を流動的に行き来するような、舞台作品でありながらも空間全体の演出を試みます。『流体』とは何か、という問いを超え、日常生活や社会、自然、世界の情勢など、我々を取り巻く環境へ目を向け、全てが互いに影響し合い存在している事実へと想いを馳せて。



Profile
「交差」の意味を持つCrossingsは、作曲家である東俊介、森紀明、映像作家の中村光男、美術家でデザイナーの山田サトシをファウンディング・メンバーとして2018年に設立。日本を中心とした様々な国や都市をより大きな視点から「一つの地域」として捉え直し、芸術における地域の枠組みの拡大と、ジャンルにとらわれない新たな表現の可能性を示す意欲的な試みと作品発表を行う。



山田 岳 Gaku YAMADA
ギターや声、自作楽器を用いたパフォーマンスのほか、演劇、ダンス、インスタレーション制作など広範囲に活動。これまでに第20回朝日現代音楽賞、第75回文化庁芸術祭優秀賞(レコード部門)、第76回文化庁芸術祭大賞(音楽部門)、第21回佐治敬三賞を受賞。レコードレーベル「blue tree」主宰。



安藤 巴 Tama ANDO
東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。現代音楽演奏コンクール「競奏」本選出場。第37回日本管打楽器コンクール、パーカッション部門第1位。「トリオ・ループ」「LA SEÑAS」メンバー、「Dropout Jazz Orchestra」リーダー。(株)こころざし neoria 契約アーティスト。



磯部 英彬 Hideaki ISOBE
作曲家、メディアアーティスト。作曲及び音響技術、コンピュータ音楽を土屋雄に師事。コンピュータを中心とした作曲活動のほか様々な電子作品のオペレータを担当する。主要な作品は日本をはじめ、オランダ、ドイツ、韓国などで演奏されている。近年はセンサーを活用した電子楽器の研究を行っている。東京音楽大学非常勤講師。



山田岳(写真左)、安藤巴(写真右)が、ギターやさまざまな打楽器などを使用した音楽を奏でる。



2023.2.28 ワークインプログレスより
©Tomoko Hidaki

#2 山本昌史 錯綜する《独奏》 ～Double Triple Solo for Solo Double Bass～

どこまでが独奏なのか？
演奏するとはどういうことか？
独奏コントラバスのための3つの作品を演奏し、「独奏」「演奏」の核心に迫ります！

山本昌史：REAL TIME - The Elf in Big f - (2023) ※初演
事前録音の音源との掛け合いで生じる演奏動作との不調和アンサンブル

シモン・ステン＝アナーセン：Self-reflecting Next To Beside Besides
映像の中でコントラバスとカメラを演奏する自分とのバーチャルトリオ

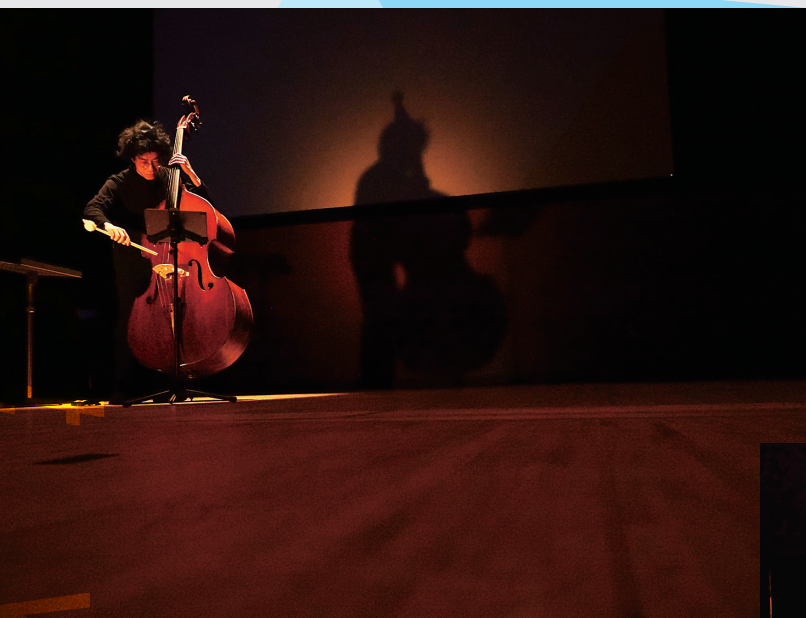
ビエール・ジョドロフスキ：TOUCH (山本昌史委嘱作品・2022) ※フルバージョン日本初演
一人で全て制御可能なエレクトロニクスを伴うコントラバス独奏曲。椅子、PC、コントラバス、マイクが存在する小さな円形の空間で、演奏者がエレクトロニクスを制御し始めたとき、そこに音楽が現れる
演奏者一人？とコントラバス一本？で創り出す音楽の世界へ！

Profile
山本 昌史 Masashi YAMAMOTO

コントラバス奏者。現代作品、即興演奏に意欲的に取り組む。独奏による新たな音楽表現を追求し、バロックから現代までの独奏曲、自作の実験的音楽など、趣向を凝らしたプログラムを展開。2022年9月に現代作品のみの独奏公演を開催、佐治敬三賞推薦コンサートにも選出され、好評を博す。また、作曲家ビエール・ジョドロフスキ氏より招聘を受け、ポーランド・ワルシャワでの公演を成功させるなど、活躍の場を広げている。



ホームページ：https://masashiyamamoto.net/



「独奏」にこだわって演奏活動続ける山本は、「独奏」と「独奏+α」の違いを表現するべく、ワークインプログレス限定で舞踏と共演。本公演では、ただ独り、音楽堂の舞台に挑む！

